

30 シロチドリ

(チドリ目)

Charadrius alexandrinus

兵庫県ランク: A

繁殖個体群:A 越冬個体群:A 通過個体群:A

環境省ランク: VU

種の概要

ヨーロッパ西部からアフリカ北部、アラビア半島、インド北西部、中央アジア、中国、朝鮮半島、サハリン、日本などに繁殖分布する。北方のものは繁殖後は温帯から熱帯域に渡る。河川の下流や河口の砂州、海岸砂浜に生息する。冬期は大きな群れが干潟や砂浜で見られる。甲殻類やゴカイ類、貝類などを採食する。砂地や砂礫地の地面に営巣する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、壱岐、対馬、五島列島、男女群島、甕島列島、上三島諸島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、西之島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★洲本市、★芦屋市、伊丹市、相生市、豊岡市、★加古川市、赤穂市、★高砂市、養父市、★南あわじ市、★淡路市、加東市、たつの市、★稲美町、★播磨町、香美町、新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○		○	○	○	○	○	

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では周年生息し繁殖する。主に県南部に分布し、県北部では少ない。近年、河川敷の荒廃と砂地の減少、海岸の人工化に伴い繁殖地が著しく減少・悪化しており、繁殖個体群の消滅が危惧されている。また、本種は良好な砂浜環境の指標種としても重要である。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や砂浜、河口などの自然環境の保全および再生が重要。また、繁殖期に本種が見られる地域では、その繁殖環境である海岸砂浜や河川の砂州、砂礫地への人の立ち入りを制限するなどの措置が必要。



写真提供：鳥田陽子

(性別：オス)



写真提供：鳥田陽子

(性別：メス)